



いよいよ新年度のスタート。

今年度は、昨年度に引き続き職員の給与や人数を削減するとともに、さらに徹底した事業の見直しにより財政の健全化を進める一方、この見直しで生み出された財源も活用し、知恵と工夫を凝らした新たな施策を打ち出し、4年ぶりに前年度を5.8%上回る総額5,829億円の積極姿勢の予算を編成しました。

地方独自の「改革」の積み重ねは日本の元気につながります。まず和歌山県が地方としてその役割を担うためにも、緑の雇用事業を代表とする和歌山モデルともいえる事業など、自らできることから取り組み、「改革」を実践することで活力を取り戻す。そんな和歌山県独自の「地方が見せる、地方で魅せる」新たな発想による思いきった魅力ある施策を展開します。

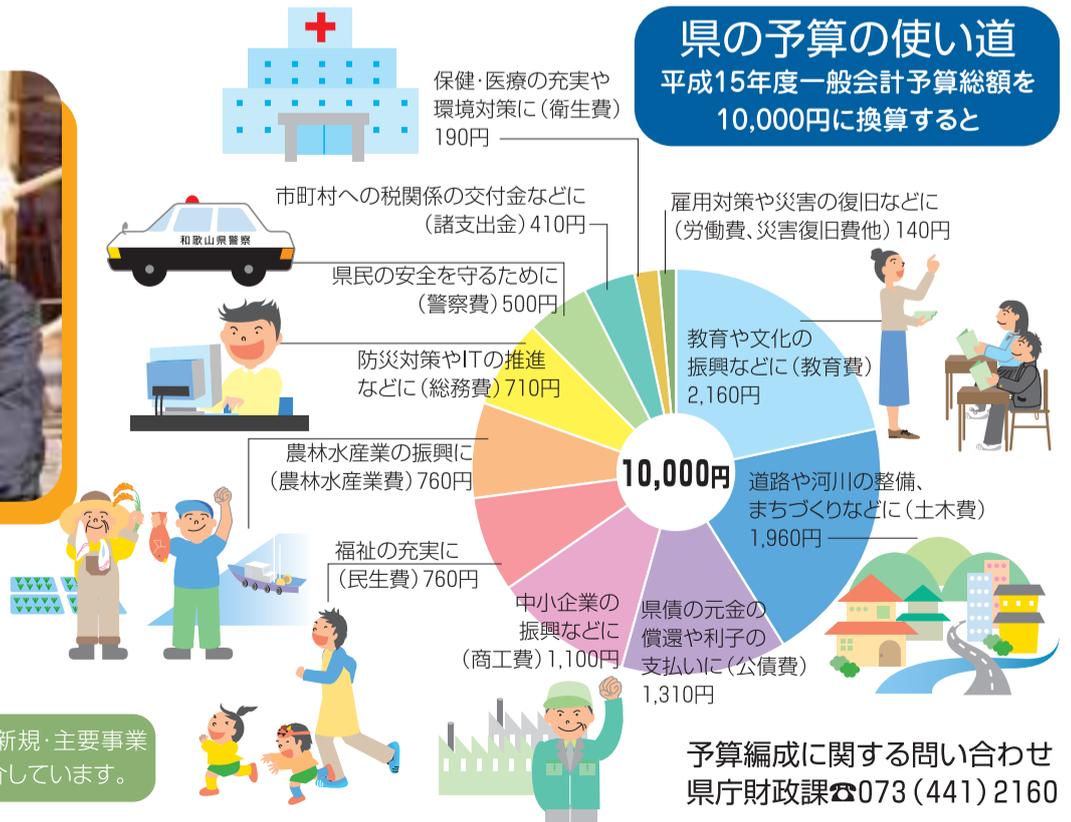
和歌山県民みんなの笑顔が日本の元気のパロメーター(目印)となるように…。



地方が見せる 地方で魅せる 活力創出 積極予算 平成15年度和歌山県当初予算

県の予算の使い道

平成15年度一般会計予算総額を
10,000円に換算すると



4月13日は、
和歌山県議会議員
選挙の投票日です。

棄権することなく、
みんなそろって投票しましょう。

※投票所は一部を除き、午前7時から午後8時まで開いています
※投票日当日、投票に行けない見込みの方は、不在者投票を利用しましょう

※4～5面で新規・主要事業の概要を紹介しています。

予算編成に関する問い合わせ
県庁財政課 ☎073(441)2160

県議会だより 2月定例会の概要

県議会2月定例会は、2月14日から3月6日までの21日間にわたって開催されました。

この定例会で木村知事は、平成15年度においては、地域の自立を目指す政策（和歌山自立政策）や全国にさきがけた政策（和歌山モデル）の実施など、行政の最前線である地方起点の構造改革を実践し、県民生活の充実や地方主導の国づくりにおいて、成果を出すことをめざしていききたいと述べました。

そして、「緑の雇用事業の全国展開」、「産業の活力アップ・雇用対策」、「安全・安心な県民生活の確保」、「ITわかやまの推進」などの施策を盛り込んだ「平成15年度一般会計予算」や「平成14

平成15年度当初予算などの案件を可決

年度一般会計補正予算」などの予算案件、本県財政状況の健全化に資するため議員報酬を5パーセント削減する「議会の議員の報酬の特例に関する条例」などの条例案件、人事案件など計99議案が提案され、いずれも原案どおり可決・同意されました。

また、予算委員会では、当初予算及び予算関連事項について審査が行われました。

請願については、1件が不採択、3件が継続審査となり、意見書・決議については「国から地方への税源移譲を求める意見書」、「イラク問題の平和的解決を求める決議」、「朝鮮民主主義人民共和国による核ミサイル等の開発の即時中止及び拉致



問題の完全解決を求める決議」が可決され、関係機関に送付されました。

質疑及び一般質問には15人の議員が登壇し、県政各般にわたる諸問題について活発な論議が展開されました。

主な質問と、これに対する知事や関係当局の答弁要旨は次のとおりです。（要約抜粋）

世界遺産登録を見据えた観光戦略の方針と展開

平成16年予定の高野・熊野世界遺産登録は、本県の観光振興にとって極めて重要なものと位置づけており、14年度から、計画的に気運を盛り上げるための祈りの道キャンペーンを実施し、首都圏や全国主要都市において、高野・熊野の歴史・文化資源を紹介してきたところである。

引き続き、高野・熊野をキーワードとした情報発信の強化による観光客の誘致や、大都市圏での認知度向上を進めていきたい。

うめ研究所（仮称）

平成16年度開所予定の「うめ研究所（仮称）」については、地域に密着した研究機関としての体制を整備するとともに、梅産業の持続的な発展を図る観点から、生育不良の早期解明を始め、環境にやさしく省力的な安定生産技術の確立やDNA検定を利用した優良品種の選抜育種、また、環境制御温室を利用した新たな研究など総合的な取り組みを行う。

和歌山県立医科大学跡地利用

近年における大型店舗の相次ぐ撤退が中心市街地の活力低下を招いており、県立医科大学跡地利用事業は、中心市街地の活性化を図る上で重要な役割を担うものと考えている。

商業施設、宿泊施設等が、15年度早々にも着工し、平成17年秋にオープンする予定となっているが、本事業の目的である、中心市街地が賑わいのあるまちになるように、着実に事業を推進していきたい。

老人医療費負担増

今回の制度改正は、高齢化

の進展等により医療費が増大し、医療保険財政が厳しい中で、これからも国民皆保険制度を堅持するため、また、現役世代の負担との均衡を図るために、高齢者の方にも応分の負担をお願いすることとなったものであることとご理解願いたい。

なお、新しい高齢者制度の創設など、医療保険制度の抜本改革の実現を国に対して要望していく。

京奈和自動車道の進捗状況

京奈和自動車道については、国に強く働きかけた結果、平成14年度予算において100億円の事業費が確保された。15年度は、三大都市圏環状道路として、引き続き増額を働きかけている。

橋本道路については、平成17年度に供用するよう国土交通省に働きかけているところである。

紀北東、紀北西道路についても、より効果的・効率的に整備が図られるよう、国に強く働きかけたい。

繊維産業等の振興策

中国市場進出支援

県内繊維産業では、輸出振興への関心も高まり、中国市場に向けた動きが進んでいる。

平成15年度には、上海に本県を含む5県共同で活動拠点をつくり、プロデューサーを配置し、県内企業の中国市場への進出を支援していくこととした。

また、繊維産業中国市場進出サポート事業を新たに創設し、海外市場の需要調査や海外展示会への出展など、繊維産地の積極的な取り組みを支援し、繊維産業の活力アップを図っていきたい。

東南海・南海地震対策

県アクションプログラム

アクションプログラムの策定については、「県民の命を守る」、「県民の生活を守る」、「復旧・復興を進める」を理念とした基本方針を策定した上で、全庁的なワーキンググループを立ち上げ、防災対策の各部門ごとに、基本方針に沿ったプログラム素案を作成する予定としている。

この素案には、市町村や防災関係機関等の意見も反映させていきたい。

イングリッシュ・パワーアッププログラム

本年度から全面实施となった新しい学習指導要領では、小学校で英語に親しむ学習を行うことができるようになった。

本県では、進んで英語を話せる子供の育成をめざし、新規事業として、小・中学校が連携し系統的に英会話学習を行う「イングリッシュ・パワーアッププログラム」を実施することとしている。

紀南地域の医療体制の充実

ドクターヘリは、救命率の向上や後遺症の軽減に非常に成果をあげており、今後、夜間運航の可能性について検討するとともに、新宮市立医療センターのヘリポートが早期に整備できるよう協議を進めている。

また、休日・夜間の比較的軽症な急病患者に対応する休日夜間急患センターや小児の病院群輪番制は、各二次保健医療圏に必要と考えており、関係機関とも協議しながら、早期に体制整備を推進していきたい。

学校におけるたばこ問題対策

県内の学校でのノースモー

キング・エリアの実施がスタートしてから1年近くが経過したが、現在、当初のねらいどおり、おおむね順調に進んでいると考えている。

また、中・高校生の喫煙については、生徒指導及び健康教育上の重要な課題であり、授業や特別活動の中で、低年齢のうちからたばこの害を知るとともに健康を大切にする態度を身に付けさせることが何よりも求められるという観点から、各学校でのたばこを含む薬物乱用防止教室の開催に力を入れていく。

有田みかんの振興

若年層の果実離れや食生活の変化などにより、消費が停滞基調にある中で、これまでも、生産・流通基盤の整備や都市でのPR、学校給食の利用促進など様々な対策を講じてきたが、平成15年度からは、「マルチ栽培の推進による高品質みかんの生産拡大対策」、「安心・安全を確保するトレーサビリティシステムの導入促進」、「大手量販店でのアンテナショップ開設」など、産地の活性化を図る新たな取り組みに着手することとしている。

構造改革特区

特区については、国からモデルを示すのではなく、自治体や民間の知恵と工夫による取り組みにより制度を変えていく、新たな国と地方のパートナーシップとして評価している。

本県も、和歌山の地域資源や特性を活かした新たなふるさとづくり型の特区的実現に向けて、関係市町村との連携を取りながら、積極的に推進していきたい。

緑の雇用事業

継続的な雇用の創出

森林作業において、緊急雇用事業に続く担い手育成対策の継続や、恒久対策として地球温暖化防止対策としての森林整備等を政府に提案するなど、森林整備事業の拡大を図り、継続的な雇用の場を創出していきたい。

なお、平成15年度においては、14年度までに緊急雇用事業で雇用された方を担い手対策として約300名、また、新たに本年度の緊急雇用事業では約400名の雇用を予定している。

漆器産業の振興

海南の漆器を始め県内の伝統工芸品産業に光を当て積極的に活用していくことは、和歌山の活力アップや地域の活性化に重要なことであると考えている。

県では、伝統工芸品産業振興の新たな試みとして、伝統工芸品リバイバル支援事業を創設し、伝統工芸を継承していく後継者の確保に努めるとともに、伝統工芸品の魅力を広める体験教室の実施など、産地の積極的な取り組みを支援していきたい。

高校卒業者の就職対策

技術取得のための技術専門高校を技術系の専門学科である工業科は、県立高校7校に設置しており、各学校では、技能検定試験等に取り組むとともに、「ものづくり」教育に力を入れ、専門的な技術者養成に努めているところである。

また、工業科の学科の内容については、産業界のニーズに即応した改編を行ってきているところであり、今後とも、技術教育の充実に努めていきたい。

平成15年度県機構改革

「改革の県政」推進のために 4月1日から県の組織が変わりました

「改革の県政」を積極的に進めるため、責任の明確化、事務処理の迅速化を図る効率的な組織に改編するとともに、新たな行政課題にも対応できる組織体制を整備しました。

県土整備部を設置

道路網の整備や下水道普及率の向上など効率的な基盤整備を推進するため、「土木部」を「県土整備部」に改称し、農林水産部から漁港整備事業、農林道事業、農業集落排水事業を、環境生活部から合併浄化槽の生活排水関連業務を移管しました。



局制を整備

責任の明確化、意思決定ラインの簡素化、事務処理の迅速化を図るため次長制を廃止し、すべての部に「局」を設置しました。

食の安全を確保

食の安全局 **エコ農業推進室**

食の安全に対する消費者の不安や関心が高まっていることから、生産から流通・消費に至る食品の安全確保を図るため、「食の安全局」（環境生活部）を設置しました。また、農薬の適正使用など生産者側における「食の安全・安心対策」を一元的に推進するため、「エコ農業推進室」（農林水産部）を設置しました。

和歌山県産品ブランドを推進

ブランド推進局

本県産品の知名度アップ、販路拡大を図るため、優れた県産品の調査発掘、市場開拓に取り組む「ブランド推進局」（商工労働部）を設置しました。



防災体制を強化

防災局

県民の身体、生命に関わる災害に対する体制を強化するため、東南海・南海地震対策や災害発生時の防災拠点になる防災センターの整備など総合的な防災対策に取り組む「防災局」（総務部）を設置しました。

人権行政を強化

人権局

「人権尊重の社会づくり条例」に基づく施策を推進し、人権が尊重される社会の実現を図るため「人権局」（企画部）を設置しました。



子育て対策を充実

幼保・少子化対策推進室

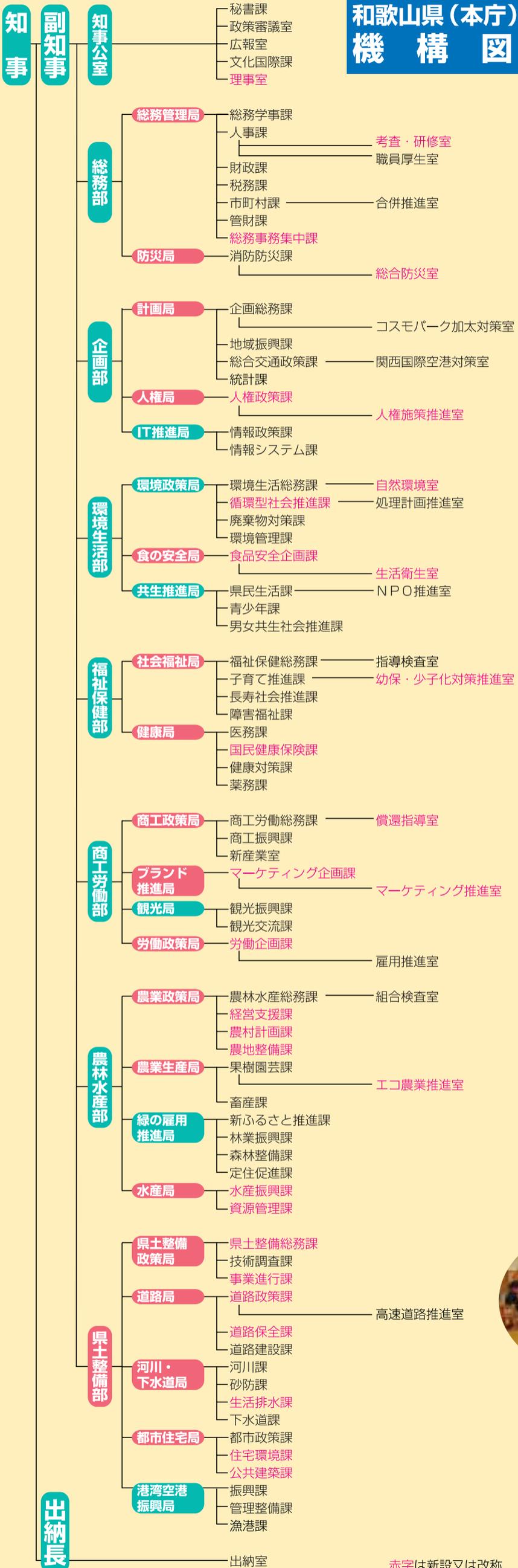
就学前児童に関わる施策の充実のため、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「こども園」等の設置をめざし、地域の実状に応じた少子化対策を進める「幼保・少子化対策推進室」（福祉保健部）を設置しました。

庶務業務を集中化・効率化

総務事務センター

本庁の庶務業務を集中化するとともに、民間に委託することにより業務の徹底した効率化を図るため「総務事務センター（総務事務集中課）」（総務部）を設置しました。

和歌山県(本庁) 機構図



赤字は新設又は改称

問い合わせ：県庁人事課 ☎073(441)2126

快適環境の創造

わかやまSTOP温暖化戦略

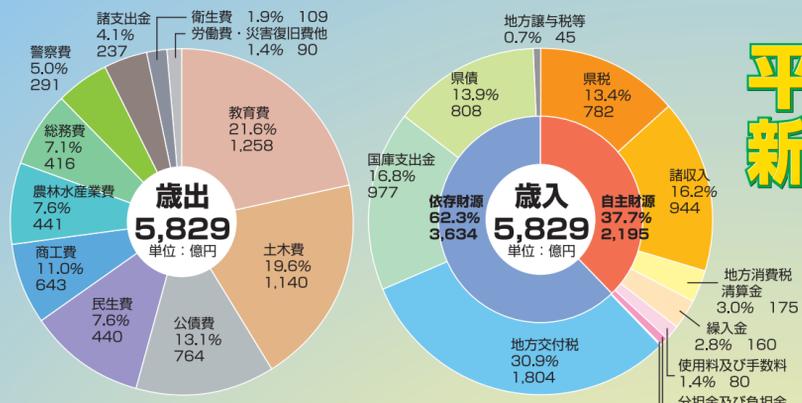
(環境生活総務課)28,669千円
地球温暖化防止に資するため、家庭・事業所・地域における先駆的取り組みを促進するなど二酸化炭素排出抑制・吸収の両面からの戦略的対策を実施

浄化槽市町村整備推進支援(生活排水課)6,836千円

公共用水域の水質保全を進めるため、市町村が設置・管理主体となって行う合併浄化槽整備事業を支援

きのくにエコスクール(教)小中学校課)4,538千円

児童・生徒の環境に対する理解を深め、環境を守り育てることのできる資質・能力を育成するため、学校における発達段階に応じた環境教育、環境保全への取り組みを実施(本県独自の学校版「S O基準(きのくにエコスクール基準)を作成)
廃棄物不法投棄撲滅クリーンアップ(廃棄物対策課)111,096千円
廃棄物の不法投棄を抑制し、生活環境の維持を図るため、不法投棄監視パトロールを実施するとともに、不法投棄された粗大ゴミ等の一斉回収を行う市町村に補助



福祉・保健・医療の充実

障害児夏休み支援(障害福祉課)1,873千円

ボランティアなどの協力を得て、障害児が充実した夏休みを過ごす一方、障害児の親等介護者が一息つける時間を提供する地域活動を支援

チャレンジ製品販売等支援(障害福祉課)5,907千円

単に生きがい支援としてではなく、障害者の自立・社会参加意欲向上のため、授産施設等における魅力ある商品づくりや技術の向上、販路開拓を支援

あんしん子育て救急整備(医務課)24,771千円

県民が安心して子どもを産み、育てられるよう、二次保健医療圏毎に輪番制による休日・夜間の小児二次救急患者受け入れ態勢を整備

身体障害者補助犬給付(障害福祉課)4,865千円

身体障害者の自立と社会参加を促進するため、肢体不自由者に介助犬を、聴覚障害者に聴導犬を、視覚障害者に盲導犬を給付

ケアマネジャー・サポートセンター(長寿社会推進課)4,367千円

より質の高い介護サービスの実現を図るため、介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質の向上を推進するための研修や活動支援体制を充実



ITわかやま

電子県庁推進(広報室、税務課、管財課、情報政策課、県民生活課、農村計画課、技術調査課)305,083千円

県政をより身近にするため、県ホームページをより使いやすくする一方、各種申請、税務申告、物品調達、入札等がインターネットで行えるようシステム構築する

リゾート・ホットスポットの展開(情報政策課)3,750千円

リゾート地域における利便性向上による集客増及びITビジネス推進のため、公共スペースや観光スポットなどを対象にしたインターネットが活用できる無線LAN環境整備に助成

ブロードバンド整備(情報政策課)30,000千円

県内情報通信環境のブロードバンド化を推進するため、過疎地域における民間事業者のインターネット高速常時接続サービス開始に助成

IT総合センター(仮称)整備(情報政策課)4,845,674千円

田辺・白浜地域におけるITリゾートオフィスの拠点施設として、また県内IT化推進拠点施設として、産学官連携による総合施設を整備(平成16年春開所)
*ブロードバンド=高速インターネット接続サービス



教育・スポーツ・文化振興



少人数学級編制の導入(教)小中学校課)

学習環境の充実と基礎学力向上を図るため、小学校第1学年において学級編制基準を40人から35人程度に引き下げ

イングリッシュパワーアッププログラム(教)小中学校課)13,118千円

進んで英語が話せる子どもの育成を図るため、モデル地域を指定し、外国人講師を導入した小・中一貫の英会話学習を行う

日本スポーツマスターズ2003和歌山大会開催(教)スポーツ課)16,000千円

スポーツ愛好家の中で競技指向の高い中・高齢者を対象としたスポーツの祭典を開催

文化表彰の歩み展開催(文化国際課)8,733千円

和歌山県文化表彰創設40周年を記念し、歴代受賞者の作品展、演奏会、講演会を開催

紀ノ川緑の歴史回廊推進(教)文化遺産課)41,914千円

紀ノ川流域に残された貴重な文化遺産を保存整備し、流域に所在する観光施設等ともあわせ、本流域の歴史・文化を観光資源として面的に強くアピールする

世界遺産登録推進(教)文化遺産課)5,431千円

三重、奈良両県及び関係市町との連携のもと、高野・熊野を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録を推進

基盤整備

府県間道路整備(道路建設課)4,970,000千円

対前年度比123%の事業量を確保
県道泉佐野岩出線「(仮称)新風吹トンネル」着工など

和歌山市内東西幹線街路整備(道路建設課)3,879,000千円

対前年度比110%の事業量を確保
湊神前線(西工区)の国体道路・新堀橋暫定2車線供用(平成15年度末)など

シンボリック箇所整備(県土整備部)1,424,170千円

少額の投資で県民にとって大きな効果が得られる道路・河川の懸案箇所を重点整備

地域高規格道路整備(道路建設課)2,400,000千円

紀伊半島地域の連携を強化させ、周辺市町村の地域活性化に貢献する幹線道路を整備

近畿自動車道紀勢線用地事務(高速道路推進室)103,200千円

海南～吉備間及び御坊～田辺間の用地取得と土地物件の測量等を実施

紀北東道路用地先行取得(高速道路推進室)614,938千円

京奈和自動車道の早期完成を図るため、高野口～打田間の用地を先行取得

紀州中山間地道路整備、地域の実情に応じた歩道整備(道路建設課)(通常事業の一環)

地域の実情に応じた基準、規格による暫定整備を含む1.5車線の道路整備や必要に応じた幅員での歩道整備等を実施



安全・安心の県民生活 食の安全

食品の安全確保推進プロジェクト(食品安全企画課)2,265千円

消費者の立場に立った食品の安全を図るため、生産から消費に至るまでの総合的衛生対策を実施

畜産わかやまトレーサビリティシステム導入モデル(畜産課)2,202千円

消費者の牛肉に対する信頼確保のため、生産から消費に至る情報を管理、情報追跡の仕組み(トレーサビリティシステム)を整備、これらの情報を消費者に提供

食の安全トレーサビリティシステム推進(果樹園芸課)10,830千円

安全・安心な農産物安定供給体制構築のため、トレーサビリティシステムの検討・推進を図るとともに、それに絡めて流通販路を拡大



災害対策

県庁舎等震災対策(市町村課、管財課、警察本部)81,794千円

震災時等に中核機能施設となる県庁舎等(本庁、振興局、警察本部、警察署)の耐震化に向けた工法検討等を実施
校舎等防災機能整備(教)総務課)368,544千円
震災時等の児童・生徒の安全を確保するため、校舎等の耐震化を実施

総合防災情報システム整備(総合防災室)36,914千円

災害時に不可欠な情報収集・伝達手段である総合防災情報システムを整備

東南海・南海地震対策(総合防災室)26,709千円

予想される東南海・南海地震に備え、地震防災対策を進める上での行動指針(アクションプログラム)を策定するとともに、被害想定見直しに着手



平成15年度当初予算 新規事業・主要事業の概要

和歌山モデルの推進

戦略的研究開発プラン(企画総務課)151,793千円

競争的研究費制度の創設により、県立研究機関の活性化と県民利益向上につながる研究成果の創出を図る(新たに基金を設置)

リサイクル製品利用促進(循環型社会推進課)1,274千円

県産のリサイクル製品を認定し、県での率先購入などを通じて利用促進を図る

県産品ニューマーケティング(ブランド推進局)23,254千円

県産品の即効性のある販路拡大を図るため、県職員による直接販路開拓を行うとともに首都圏に店舗網をもつ大型店のソフトアンテナショップ等を展開



伝統工芸品リバイバル支援(商工振興課)11,806千円

伝統産業における技術・技法の伝承を支援するとともに、体験型観光とのタイアップによるPRを実施

「懐かしの郷」づくり推進(観光交流課)10,000千円

山里の自然、風土、人情、暮らしと体験メニューを活用し、素朴な宿泊施設との組み合わせにより、泊・学・遊が一定エリアで完結する「新ふるさと創り」にふさわしい「懐かしの郷」づくりを推進

木質バイオマス資源有効利用調査(林業振興課)6,085千円

木質バイオマスの利用可能性について、資源量、経済性、プラント整備手法等について調査、検討

公共事業事前評価システム構築(技術調査課)14,000千円

公共事業の一層の効率性、透明性を確保するため、事業採択前に必要性、効果等を評価する(本県独自の取り組みとして施策間優先度評価を検討)

市町村合併推進(合併推進室)263,258千円

市町村合併の円滑な推進のため、地域の合併推進に向けた取り組みを支援
*アンテナショップ=消費者の意向を探るために設けた店舗 *バイオマス=エネルギー資源としての生物体

新しい観光戦略・和歌山魅力PR

和歌山デスティネーションキャンペーン(観光振興課)70,000千円

高野・熊野世界遺産登録により注目を浴びる時期に合わせ、本県の魅力を全国に向け効果的に情報発信、観光客誘致を図る(県、市町村、民間事業者、JRグループ一体の全国キャンペーンを平成16年秋に実施)

東京観光センター開設(観光振興課)78,779千円

首都圏における本県の認知度、イメージアップを図るため、情報交流・発信拠点として東京観光センターの機能を充実、ミニ・アンテナショップとしてオープン

海洋レジャープロモーション(企画総務課)14,000千円

ヨット界の第一人者であるラッセル・クルーズを和歌山県等に招へい、和歌山ではヨットレースやヨット体験を行い、和歌山の魅力をアピールする



魅力と和歌山、新発見(統計課)1,486千円

県民参画のもと、知られていない和歌山の自慢・特徴を収集、県内外広報等に活用し、本県の新たな魅力をPRするとともに、県民のふるさと意識の高揚を図る
*デスティネーション=目的地、到着地 *プロモーション=促進

治安の確保

警察官の増員(警察本部)

警察事象の量的増大・質的变化に対処するため、また県民の「安全」に対するニーズの高まりに応えるため昨年度(40人)に引き続き30人を増員

交番相談員増員、少年サポーター設置(警察本部)

警察OBの経験を活用し、空き交番対策と交番勤務員の街頭活動強化のため交番相談員を増員するとともに、非行少年対策として少年サポーターを本部に設置

街頭における警察力強化(警察本部)28,540千円

犯罪発生を抑制し、治安悪化に歯止めをかけるため、専門部隊による街頭での犯罪検挙、抑止活動を実施



緑の雇用事業の推進

*「緑の雇用」合計34事業2,570,118千円

緊急雇用事業(森林整備分)による雇用創出400人
うち新規参入者300人 うち1ターン等200人

企業連携・「企業の森」育成支援(新ふるさと推進課)6,774千円

環境貢献等を考える民間企業等と連携し、新たな森林整備を積極的に推進する

「新ふるさと創り」地域支援(新ふるさと推進課)3,910千円

新たな地域活性化モデルの構築を図るため、地域活性化に意欲的に取り組む住民組織等の活動を重点的に支援

紀州「木の国」緑の道づくり(林業振興課)80,000千円

森林施業の効率化を促進するため、森林施業に直結した小規模で簡易な車道の整備に助成

緑の雇用担い手住宅整備(定住促進課)500,000千円

緑の雇用事業による森林整備の担い手として1ターンの者の定着を図るため、新たな県単独の公共事業として住宅整備を図るとともに、紀州材の活用により地域産業の振興を図る



雇用対策

*緊急雇用創出特別基金事業 合計45事業2,079,681千円

1,550人の雇用創出、新たに市町村独自事業枠として1億円を設定

就職活動パワーアップセミナー(雇用推進室)12,291千円

高校生・若年未就職者を中心に就職活動のノウハウの指導、専門家による就職指導の実施により、就職活動に必要な能力向上を図る

母子家庭就業・自立支援(子育て推進課)9,491千円

母子家庭の安定就労を支援し経済的自立を図るため、相談体制を整えるとともに、職業能力向上のための講習会と給付金の支給を実施

ジョブ・サポート(教)県立学校課)1,442千円

高等学校卒業者の就職活動を支援し就職内定率を高めるため、親子進路ガイダンスを実施

産業の活力アップ

企業ソムリエ支援(新産業室)50,000千円

県経済をリードする特色のある、いわゆるオンリー・ワン企業を育成するため、企業ソムリエ委員会の認定企業に対し直接投資を行う投資ファンドを民間と協同で設立する

中国市場進出支援(商工振興課)2,345千円

有望な市場として期待される中国での市場開拓を支援するため、上海に和歌山、岩手、宮城、三重、福岡の5県共同の活動拠点を整備

農林水産物コーディネート促進(ブランド推進局)13,216千円

東京での物産展開催を通じ、マーケティングのノウハウ習得や生産者を交えた出品による和歌山直送の「安全・安心」農林水産物をPR

都市農村交流型アグリビジネス支援(経営支援課)13,520千円

農家所得拡大や地域内雇用創出による地域活性化のため、都市と農村の交流活動を通じた新たな販路開拓やアグリビジネス化に意欲的な農家組織を支援

中小企業融資制度実施(商工労働総務課)56,621,533千円

新規融資枠883億円、緊急経済対策資金拡充465億円(対前年度比141%)
小企業者枠(一般貸付資金の金利を低減(▲0.2%)の創設等

うめ研究機関整備(果樹園芸課)618,585千円

梅生産、加工技術向上等のため設置する「うめ研究所」の本体工事(平成16年4月運用開始)

紀州材健康空間創造(林業振興課)50,000千円

住民に身近な市町村施設(特に、教育関連施設等)の紀州材を用いた内装木質化にかかるコスト増に対し助成し、紀州材をPR、需要拡大を図る

環境林バイオマス供給実証プロジェクト(森林整備課)32,426千円

森林内に放置された間伐材を搬出し森林環境保全を図るとともに、地球環境に優しいバイオマス資源として活用する

公共事業における県産品活用ステップアッププロジェクト(技術調査課)1,093千円

県の公共工事において県産品利用の一層の推進を図るため、県産品活用の先進的な工事等を実施(工事費は通常事業の一環)



*アグリビジネス=生産から加工・流通までを含めた農業関連産業

時...期日・時間 場...場所・会場 定...定員 和歌山県のホームページは http://www.wakayama.go.jp/
対...対象・資格 費...費用 申...申込・応募方法 県庁・県教育委員会への郵便は 〒640-8585(県庁専用郵便番号、住所記入不要)
問...問い合わせ 抽...希望者多数の場合抽選 電話は ☎073(432)4111 課あて



国際協力事業団大阪国際センター
☎072(641)6900
申 所定の用紙で4月10日～5月20日

紀伊風土記の丘
子ども歴史クラブ会員
毎月第2土曜日13:00～15:00に
古代・民俗の体験学習
対 小学3～6年生 40人
申 5月1日までに紀伊風土記の丘資料館へ直接又は電話で
問 申込先☎073(471)6123

作業主任者講習
講習名・時
型枠支保工 4月22～23日
地山の掘削 5月13～14日
土止め支保工 5月20日
足場組立て等 6月10～11日
いずれも9:00～17:00
受講料必要(テキスト代含む)
場 県勤労福祉会館(和歌山市)
申 各講習会開催日の約1カ月前から建設業労働災害防止協会和歌山県支部☎073(436)1327
問 申込先

募集

新規就農サポート・スクール
新規就農希望者に対する基礎的知識・技術習得のための研修
時 6月23日～翌年2月20日
場 県立農業大学校(かつらぎ町)
対・定 概ね60歳未満の本県における就農を希望する方で、原則として農業大学校へ通いながら研修受講できる方 15人(選考)
申 所定の申込書等を5月13～23日に会場
問 会場☎0736(22)2203

喜の国いきいき健康長寿祭
スポーツ交流大会
種目・時・場
グラウンドゴルフ
5月13日(火) 和歌山市
卓球・弓道
5月28日(水) 和歌山市
ベタンク
5月30日(金) 那智勝浦町
パークゴルフ
6月2日(月) 野上町
テニス・ソフトテニス
6月10日(火) 和歌山市
種目によりダブルス・トリプルス等の別あり
対 県内在住の60歳以上の方(昭

和19年4月1日以前に生まれた方)
申 ハガキ、封書、FAXに住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、種目、(チーム名)を記入し、4月28日までに(財)いきいき長寿社会センター〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛7階 FAX073(435)5215
問 申込先☎073(435)5214

語学教室
フランス語
5月6日～6月24日の毎週火曜日
・初めての方 = 13:30～14:30
・初級 = 18:30～19:30
初級英会話
5月7日～6月25日の毎週水曜日
18:30～19:30
スペイン語
5月8日～6月26日の毎週木曜日
・初めての方 = 13:30～14:30
・初級 = 18:30～19:30
初めての韓国語
5月9日～6月27日の毎週金曜日
18:30～19:30
場 和歌山県国際交流センター(和歌山市)
定 各講座20人(先着順)
費 4,000円(1講座) + 県国際交流協会賛助会員登録料3,000円
申 ハガキ、FAXに希望講座名、住所、氏名(ふりがな)、電話番

号を記入し会場〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階 FAX073(435)5243
問 会場☎073(435)5240

県有地の売却
未利用地を一般競争入札で売却
和歌山市府中東畑1011-26(宅地316.47m²)
吉備町水尻字岡添1180-3(雑種地785.00m²)
粉河町粉河字片山2265-1(宅地262.55m²)
高野口町名古屋上ノ段776-2(宅地151.40m²)
申 4月7～28日に県庁管財課
問 県庁管財課

全日本中学生 水の作文コンクール
課題 水について考える(題名自由)。400字詰め原稿用紙(B4判)4枚以内。本文の前に題名、学校名、学年、氏名(ふりがな)を記入
対 中学生(同年齢の方を含む)
申 5月15日までに県庁地域振興課
問 県庁地域振興課

近畿青年洋上大学
近畿等の青年450人と共に中国を訪問。洋上研修や現地青年との交流、ホームステイ等
時 8月11～22日

訪問地 中国(北京、天津、大同)
対 県内在住の満20～35歳の方
定 30人(選考)
費 145,000円
申 4月30日までに県庁青少年課、各振興局県民行政部総務課
問 申込先

青年海外協力隊員等
青年海外ボランティア
説明会 4月20日(日)14:30～田辺市民総合センター(但し、青年海外協力隊のみ)
4月25日(金)18:30～和歌山ビッグ愛(和歌山市)
青年海外協力隊員(2年間)
対 満20～39歳の日本国籍の方
派遣国 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の約65カ国
日系社会青年ボランティア(2年間)
対 満20～39歳の日本国籍の方
派遣国 アルゼンチンなど中南米各国の日系団体等
シニア海外ボランティア(1～2年間)
説明会 4月25日(金)14:30～和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対 満40～69歳の日本国籍の方
派遣国 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の約55カ国
募集要領配布・問 県国際交流センター(和歌山市)☎073(435)5240、

ごあんない

県内で漁業の新規就業をめざす方へ
インターネットで求人情報を提供しています
http://www.wakayama.go.jp/refg/071000/center/top.htm
問 県庁水産振興課

乳児の保護者のみなさん
神経芽細胞腫検査を忘れずに！
子どもが6カ月児となったら、速やかに乳児健診時に配布された採尿器に尿を採り、検査申込票と共に郵送してください
問 住所地を管轄する保健所

1日まちの保健室
5月11～17日の看護週間に、県

内8カ所で開催健康チェックや血圧測定、健康相談等を実施
問 県看護協会☎073(446)0605、県庁医務課

Uターンフェア
来春卒業予定の大学生等を対象とした、各企業の人事担当者との面談会(予約不要)
時 4月21日(月) 12:00～16:00
場 ホテルグランヴィア和歌山(和歌山市)
問 実行委員会☎073(431)7376

中小企業労働施策アドバイザー
県が委嘱した社会保険労務士が県内中小企業を巡回します
・巡回相談・助言
・RCS(厚生労働省方式社内コミュニケーション診断)の実

施と事後指導等
申・問 県庁労働企画課

国立公園内各種行為の許可申請窓口の変更
4月1日から、国立公園(瀬戸内海、吉野熊野)内で工作物の新(増・改)築や土地の形状変更等を行う際の許可申請窓口が、環境省近畿地区自然保護事務所(瀬戸内海)及び同熊野支所(吉野熊野)に変更になりました
問 県庁環境生活総務課自然環境室、西牟婁振興局県民行政部総務課、東牟婁振興局地域行政課

国定公園特別地域内における物の集積等にかかる届出
4月1日から、特別地域内での物(土石・廃棄物・再生資源)の集積

等を行う際は、新規のものだけでなく、既に着手しているものについても届出が必要です
問 県庁環境生活総務課自然環境室

ゴルフ場利用税の改正
4月1日から、障害者の方、18歳未満の方、70歳以上の方等に適用される非課税措置が創設されました。利用の際は、身体障害者手帳、学生証、運転免許証等の提示等が必要です

自動車税、自動車取得税の改正
4月1日から、「自動車グリーン化税制」について、要件、軽減期間等が改正されました。
問 各振興局税務課(海草は税務部自動車税・間税課)

パスポート申請時に住民票の提出を省略できます

4月1日から、パスポート申請時に住民基本台帳ネットワークシステムを利用できるため、原則として住民票の提出を省略することができます。但し、学生など県外に住民登録のある方が申請する場合は、従来どおり住民票の提出が必要です。詳しくは申請窓口へお問い合わせください。
問 県パスポートセンター☎073(436)7888、各振興局県民行政部総務課(海草を除く)、東牟婁振興局県民行政部古座駐在(新宮保健所古座支所内)

試験

県警察官A採用
時 5月10日(土)
場 県立和歌山工業高校(和歌山市)、県立田辺商業高校(田辺市)
試験区分・採用予定人数
警察官A男性 = 65人程度
警察官A女性 = 4人程度
受験資格 昭和49年4月2日から

昭和61年4月1日までに生まれた方で、大学(短期大学を除く)の卒業生又は平成16年3月末日までに卒業見込みの方
申込書配布 県人事委員会事務局、県警察本部警務課・各警察署等
申 郵送 = 4月4～18日
持参 = 4月14～18日に県人事委員会事務局
問 申込先☎073(441)3763

危険物取扱者
種類 甲種、乙種、丙種
時 5月25日(日) 9:30～
場 和歌山市、田辺市、新宮市
願書配布 (財)消防試験研究センター和歌山県支部、県庁消防防災課、各振興局地域行政課、各消防本部
申 4月14～17日に(財)消防試験研究センター和歌山県支部
問 申込先☎073(425)3369

製菓衛生師
時 6月9日(月) 14:00～
場 県勤労福祉会館(和歌山市)
願書・菓子製造業従事証明書配付
県庁生活衛生室、各県立保健所(支所)
申 4月21～25日に住所地を管轄する県立保健所(支所)(但し、和歌山市在住・県外在住の方は県庁生活衛生室) 郵送可
問 申込先

下水道排水設備工事責任技術者
時 7月13日(日)
場 和歌山大学(和歌山市)
申込書配布 5月6～16日に下水道事業等実施市町村、県庁下水道課、各振興局建設部、(財)県下水道公社
申込受付 5月19～23日
問 日本下水道協会和歌山県支部(和歌山市役所内)☎073(435)1093、各市町村役場、県庁下水道課

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土

★ 青少年の家 ★

ネイチャーライフ IN きほく・春

炭づくりや野菜の苗植え等
 時 5月10～11日(1泊2日)
 場 紀北青少年の家
 対 小学4年～中学生 40人 抽
 費 3,000円
 申 電話、FAX、ハガキで5月1日までに会場

癒しのレクリエーション・ヒーリング

自然体験や音楽療法等を通じて心の開放手法を体験
 時 5月24～25日(1泊2日)
 場 紀北青少年の家
 対 一般 40人 抽
 費 3,500円
 申 電話、FAX、ハガキで5月14日までに会場

家族でリフレッシュ・白崎

野外炊事、天体観測等
 時 5月3～5日(2泊3日)
 場 白崎青少年の家
 対 家族 15組 抽
 費 1人4,060～5,900円
 申 電話、FAX、ハガキで4月20日までに会場

白崎ネイチャークラブ・春

ゲーム、竹細工、野外炊事等
 時 5月17～18日(1泊2日)
 場 白崎青少年の家
 対 小学4年～中学生 40人 抽
 費 3,000円
 申 電話、FAX、ハガキで5月2日までに会場

感動体験！ファミリーフィッシング

キス釣り、カサゴ釣り
 時 5月24～25日(1泊2日)
 場 白崎青少年の家
 対 小学5年～中学生とその家族
 30人(保護者を除く) 抽
 費 1人4,000～4,500円
 申 電話、FAX、ハガキで5月15日までに会場

家族の連休プラン

時 5月3～5日(2泊3日)
 場 潮岬青少年の家
 対 家族 15組 抽
 費 1人4,150～5,990円
 申 電話、FAX、ハガキで4月20日までに会場

私のお気に入り 海そう押し葉

時 5月25日(日)
 場 潮岬青少年の家
 対 小学5年～中学生 30人 抽
 費 1,000円
 申 電話、FAX、ハガキで5月11日までに会場

ハガキ・FAXで申し込む場合
 参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名を記入してください。

申・問
 紀北青少年の家 〒649-7112かつらぎ町中飯降1317-3 ☎0736(22)5530 FAX0736(22)5531
 白崎青少年の家 〒649-1123由良町大引961-1 ☎0738(65)2351 FAX0738(65)2352
 潮岬青少年の家 〒649-3502串本町潮岬669 ☎0735(62)6045 FAX0735(62)0182

県男女共生社会推進センター りいぶる

「りいぶる出前講座」募集
 男女共同参画を推進するため、地域住民自らが企画・開催する講座や研修会等への講師招へいを支援します。

対 5人以上のグループ等が主催する、家族、子育て、仕事と家庭の両立など男女共同参画推進につながるテーマで、30人以上の参加者が見込める講座等
講師 グループ等の希望を聴いた上でりいぶるが決定。講師の謝金及び旅費はりいぶるが負担
 会場借上や開催準備はグループ等が行うこと
申 所定の申請書により講座等開催予定日の2カ月前までにりいぶる

「和歌山県男女共同参画推進員」募集

冊子の配布や講演会開催など、男女共同参画推進活動を実践いただくボランティアを募集
対 県内在住の20歳以上の方
定 120人程度(選考)
期間 平成16年3月31日まで
申 ハガキ、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、応募動機を記入し、5月20日までにりいぶる

問 県男女共生社会推進センターりいぶる
 〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
 ☎073(435)5245 FAX073(435)5247
 Eメール e0315012@office.wakayama.go.jp

自然博物館

磯の観察会
 時 5月18日(日) 12:30～14:00
 場 田倉崎海岸(和歌山市加太)
対 小学生～一般 60人
 (小学生は保護者同伴) 抽
費 1人20円程度(保険料)
申 往復ハガキに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、5月2日までに自然博物館「磯の観察会」係

自然博物館友の会 新年度会員募集

期間内(4月～翌年3月)は入館無料
 会誌「ことのうら」やイベント情報をいち早くお届け
年度会費 ()内は家族割引料金
 大人 1,800円(1,300円)
 高校生 1,300円(800円)
 小・中学生 1,000円(500円)
申 自然博物館窓口等
申・問 県立自然博物館
 〒642-0001海南市船尾370-1
 ☎073(483)1777

広報誌「W-ing」第21号発行!

新ふるさと創り
 県庁広報室、各振興局県民行政部総務課でお渡しします。郵送希望の方は、返信用切手200円分(1冊の場合)を同封のうえ県庁広報室へ



融資など

県修学奨励金

募集期間 4月14日～5月30日

【奨学金】

対 高等学校・高等専門学校に平成14年4月以降第1学年に入学した方
 ・世帯全員の収入額が生活保護法の規定による生活保護の基準に基づき算定する年額の1.5倍以下であること
 ・対象者の保護者等が県内に住所を有していること
 ・日本育英会等の奨学金の貸与を受けていないこと

貸与額(月額) 国公立 = 自宅通学

18,000円、自宅外通学23,000円
 私立 = 自宅通学30,000円、自宅外通学35,000円

返還 無利子、卒業後10年以内

【進学助成金】

対 大学・短大に平成15年4月以降第1学年に入学し、自宅以外から通学する方
 ・世帯で最も収入の多い人の所得が日本育英会の第1種奨学金の収入基準額以下であること
 ・対象者の保護者等が県内に住所を有していること
 ・他の奨学金等による一時金の貸与を受けていないこと

貸与額(一時金) 50万円

返還 無利子、卒業後5年以内

問 県教育委員会生涯学習課

母子寡婦福祉修学資金

対 高校・大学等で修学する母子家庭の児童等
申込書配布 各振興局健康推進課、各市町村母子福祉担当課

申 各市町村母子福祉担当課
問 各振興局健康推進課(和歌山市在住の方は和歌山市役所こども家庭室)

地域・ひと・まちづくり事業

県内の地域づくり団体等が実施する地域づくり活動を支援
補助率 対象経費の2分の1以内
補助限度額 100万円
申・問 各振興局地域行政課

心と身体の健康づくり 紀州材を使った住宅建設支援

対 県内に自分が住むために建てる一戸建て専用住宅(建売除く)
条件 住宅の構造材(柱、はりなど)に乾燥した紀州材を使うこと、かつ平成16年2月末までに構造材部分が完成すること

補助金額 紀州材1m³当たり2万円

申 所定の様式で9月30日までに住所地を管轄する振興局林務課

又は市町村役場 抽
問 県庁林業振興課、各振興局林務課

小規模企業者等設備資金

県内の小規模企業者(創業者を含む)に対し、機械設備代金の約2分の1を無利子で貸付
設備貸与は4月以降の受付を休止
貸付限度額 4,000万円

償還方法 1年据置、6年以内の均等半年賦償還

説明会 4月22日(火) = 西牟婁総合庁舎(田辺市)、4月23日(水) = 県民文化会館(和歌山市)

いずれも13:30～15:30
申・問 (財)中小企業振興公社で通年随時受付☎073(432)3412

4月から介護保険制度が一部変わります

介護保険料	市町村等が決める65歳以上の方の介護保険料が変わります。詳しくは、各市町村役場へ。
利用料	国の定める介護報酬が改正されます。これに伴い、受ける介護サービスの種類によっては、利用料が変わる場合があります。詳しくは、担当の介護支援専門員等へ。
要介護認定	より適切な要介護認定を行うため、調査項目などが改訂されます。詳しくは、各市町村役場へ。

介護保険制度については、インターネットでも情報提供しています
<http://wave.wakayama.go.jp/kaigodenet/index.html>

当座預金、普通預金、別段預金は平成17年3月末まで引き続き全額保護されます

・定期預金等については、これまでと同様、預金者1人当たり、1金融機関ごとに元本1,000万円までとその利息等が保護されます。それを超える部分は、破たん金融機関の財産の状況に応じて支払われます。
 ・平成17年4月以降は、当座預金など利息のつかない預金が全額保護されることとなります。

問 各金融機関の窓口 預金保険機構☎03(3212)6029 近畿財務局☎06(6949)6369 和歌山財務事務所☎073(422)6141

労働保険の年度更新手続きは5月20日までに 問 和歌山労働局労働保険徴収室☎073(422)2175

催し

県立近代美術館 ☎073(436)8690

特別企画展「はじめての美術・絵本原画の世界」
4月12日(土)～5月25日(日)

県立博物館 ☎073(436)8670

特別陳列「紀伊狩野の絵画」 4月26日(土)～6月8日(日)

紀伊風土記の丘 ☎073(471)6123

企画展「西牟婁・山の民俗」 4月1日(火)～6月22日(日)

竹とんぼを作ろう(小学生以上) 4月29日(祝)13:00

民家でお茶会 5月3日(祝)～5日(祝)

古代の遊び 5月3日(祝)～5日(祝)

古墳時代の塩づくり 5月4日(祝)12:30

紀伊風土記の丘子ども学芸員※

5月18日(日) 10:00～15:30

※4/8～5/8に事前申込必要(定員:小学生10人)

県植物公園緑花センター ☎0736(62)4029

原色押花の作り方※ 花の押し方 4月13日(日)
作品の仕上げ 4月20日(日)

写生教室(小学生対象)※ 4月27日(日)

展示会 生け花展4/19～21、山野草生け花展4/26～29、
春の原色押花展4/26～5/21、古典植物展4/29

※は事前申込必要(4月から入園料が必要です)

植物公園緑花センター ニュース

①駐車場を無料にしました! 4月1日～

②ユニバーサル・トレイル(仮称)完成!

紀州材を使った大型木製遊具で、車いすを利用する障
害者の方にも楽しんでもらえるよう工夫しています。

和歌山県公館 一般開放

日時 4月27日(日)・5月11日(日) 10:00～16:00

交通 バス停「不老橋」下車 ※駐車場はありません。

問合せ 県庁管財課☎073(441)2214

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月～金曜日(東牟婁振興局☎0735(22)8551
水曜日を除く) 場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 4月21日(月)、
5月12日(月) 受付/13:00～14:00 ●東牟婁振興局
4月18日(金)、5月2日(金) 受付/正午まで (電話予約必要)

【巡回相談】●西牟婁振興局 5月14日(水)
受付/11:00～15:00

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月～金曜日 場所/県庁県民相談室

【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※先着各20人

●4月25日(金)<☎予約4/21～> ●5月6日(火)<☎予約
4/28～> ●5月16日(金)<☎予約5/7～>

【移動相談】●5月1日(木) 貴志川町・保健福祉センター
<☎予約 4/17～那賀振興局0736(61)0005> ●5月
13日(火) 新宮市・人権教育センター<☎予約4/30～東牟
婁振興局0735(21)9605> ●5月22日(木) 広川町・
町民会館<☎予約5/8～有田振興局0737(64)1255>
※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073(435)5212

【常設相談】月～金曜日

【専門相談】医療、リハビリ、保険・年金、税金、栄養、
住宅、法律、健康 ※日時はお問い合わせください

【弁護士による相談】4月18日(金)(電話予約必要)

場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

県政がわかる、納得、身近になる

県政広報番組紹介

●テレビ

テレビ和歌山(WTV)

きのくに21 日曜日 9:30～22:00(再)

県民チャンネル 月～金曜日20:55(火曜日21:54)

県政フラッシュ 金曜日18:00のニュース番組内

文字放送 テレモ西日本511#

紀の国・和歌山情報 毎日5:00～24:00

●ラジオ 和歌山放送(wbs)

県民マイク 土曜日 14:30

県庁だより 毎日11:40・18:00(再)



わがやま.. 北南NEWS

白浜町で行われた萬田久子さん主演の
テレビドラマのロケ

国道424号小家谷拡幅(龍神村) 国道371号相瀬～立合バイパス(古座川町)

開通! 快通!

田辺市から龍神村を経て内陸部を縦貫しながら打田町に至る国道424号のうち、平成7年度に着工した龍神村・甲斐ノ川～小家間の道路拡幅工事が3月に完了しました。延長3,240mの区間で、2車線・片側歩道付きの道路へと拡幅されたことにより、人も車も、より安全で快適な通行ができるようになりました。

また、紀伊半島を縦断する国道371号の古座川町相瀬～立合間は、幅員が狭いうえ急カーブが続き、車の対向困難な箇所が多かったため、平成8年度からバイパス工事を進めてきました。このほど、2本のトンネルと2本の橋りょう等が完成し(写真)、地域間の連携・交流はもちろんのこと、救急医療など生活の面でも大きな効果が期待されています。



紀の国ふれあいバス

県の施設や現場などへ

バスで見学に行きます

参加者募集

申込・問合せ先 ハガキに参加者(1枚につき4人まで、1人1枚に限る)の住所、氏名、年齢、電話番号、希望コースを記入し、4月16日までに各申込・問合せ先

※応募が定員を超える場合は抽選

※A・B・C・Fコースは昼食代を含む



コース	日程	定員	費用	内容	申込・問合せ先
A [1]	5/7 (水)	80人	1,700円	県民文化会館前発→リフレッシュエリアみやまの里・椿山ダム→養鶏研究所→かわべ天文公園(プラネタリウム鑑賞)→県民文化会館前着	県庁 広報室 ☎073(441)2034 〒640-8585 (住所記載不要)
A [2]	5/9 (金)	80人			
B	5/9 (金)	40人	1,300円	海南市役所前発→(株)角長 醤油資料館・職人蔵→NPO菜の花会→暖地園芸センター→海南市役所前着	海草振興局県民行政部総務課 ☎073(441)3352 〒640-8585 (住所記載不要)
C	5/15 (木)	40人	1,750円	那賀総合庁舎前発→消費生活センター→人権啓発センター→紀州漆器伝統産業会館(漆器時給体験)→動物愛護センター→那賀総合庁舎前着	那賀振興局県民行政部総務課 ☎0736(61)0005 〒649-6234岩出町高塚209
D	5/15 (木)	45人	1,000円	伊都総合庁舎前発→生石高原(ハイキング)→植物公園緑花センター→伊都総合庁舎前着	伊都振興局県民行政部総務課 ☎0736(34)1700 〒648-8541 (住所記載不要)
E	5/16 (金)	40人	1,300円	有田総合庁舎前発→暖地園芸センター→防災航空センター→紀州備長炭振興館(備長炭風鈴づくり体験)→有田総合庁舎前着	有田振興局県民行政部総務課 ☎0737(64)1255 〒643-0004湯浅町湯浅2355-1
F	5/16 (金)	40人	2,500円	①南部町役場前発②御坊市役所前発③由良町中央公民館前発→海南インテリジェントパーク→高野山→転軸山森林公園(高野紙切り絵体験)→①由良町中央公民館前着②御坊市役所前着③南部町役場前着	日高振興局県民行政部総務課 ☎0738(24)2904 〒644-0011御坊市湯川町財部651
G	5/14 (水)	40人	1,000円	JR紀伊田辺駅弁展覧前発→万葉館→県立近代美術館→植物公園緑花センター→工業技術センター→JR紀伊田辺駅前着	西牟婁振興局県民行政部総務課 ☎0739(22)1200 〒646-8580 (住所記載不要)
H	5/13 (火)	40人	1,030円	東牟婁総合庁舎前発→暖地園芸センター→かわべ天文公園(プラネタリウム鑑賞)→道成寺→東牟婁総合庁舎前着	東牟婁振興局県民行政部総務課 ☎0735(22)8551 〒647-8551 (住所記載不要)

参加団体募集

実施日 土・日・祝日・年末年始を除く日の9:00～17:00頃

対象 20歳以上の県民で構成される団体やグループで、参加人数が50人程度見込めること。

※平成14年度に参加した団体は不可

申込 所定の申込書(県庁広報室、各振興局で配布。県ホームページにも掲載)を、4月18日までに和歌山市内に所在する団体は県庁広報室、その他の団体は各振興局県民行政部総務課

問い合わせ 申込先

第2回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

各市町村代表の小中学生によるジュニア駅伝大会が、2月16日(日)、和歌山市で開催されました。第1走者の中学生男子が11時に県庁前をスタート。和歌山マリーナシティまでの25kmを10人がリレーして、沿道の声援を受けながら、寒風をものともしない熱いレースが繰り広げられました。



問合せ

県教育委員会スポーツ課

入賞チーム

- 1位 御坊市
- 2位 和歌山市
- 3位 海南市
- 4位 美浜町
- 5位 龍神村
- 6位 すさみ町
- 7位 かつらぎ町
- 8位 田辺市

ホームページを開設!

わかやま県政ニュース

<http://news.info-wakayama.jp>

催しや募集のお知らせをはじめ、事業の内容や調査結果等々、県から報道機関に対して発表した資料を掲載しています

和歌山県フォトライブラリー

<http://photo.info-wakayama.jp>

県が保管する県内各地の様々な写真約2,500点を公開しています

問合せ 県庁広報室

犬を飼っている皆さんへ

犬の登録(市町村役場、但し和歌山市は同市保健所で登録)と、年1回の狂犬病予防注射は、法律で義務づけられています

問合せ
各市町村役場

